



路面電車の駅前乗り入れは一旦中止を

金額も工期も大幅変更なのに、市は2月議会に推進予算を提案し、市民にも議会にも十分議論する時間をとくらずに予算を通してしまいました。市長もコロナ対策が最優先と

計画は中止して市民的議論を

市は、2020年3月には問題を認識していましたが、2年近くの間、市民にも議会にも隠していました。大森市長は21年7月には報告を受けていたとのことですが、この年10月の市長選挙でも市民

2年近く隠へい

に知らせませんでした。

市が「最も優先度が高く重要な事業の1つ」と位置づけ、市民の関心も高い事業なのに、大幅変更を2年近くの間隠していたのは、市民への深刻な裏切りです。

いう今、計画は一旦中止して市民的議論をやり直すべきです。一方、議会では計画の全面実施を求める会派もいます。(4面に続く)

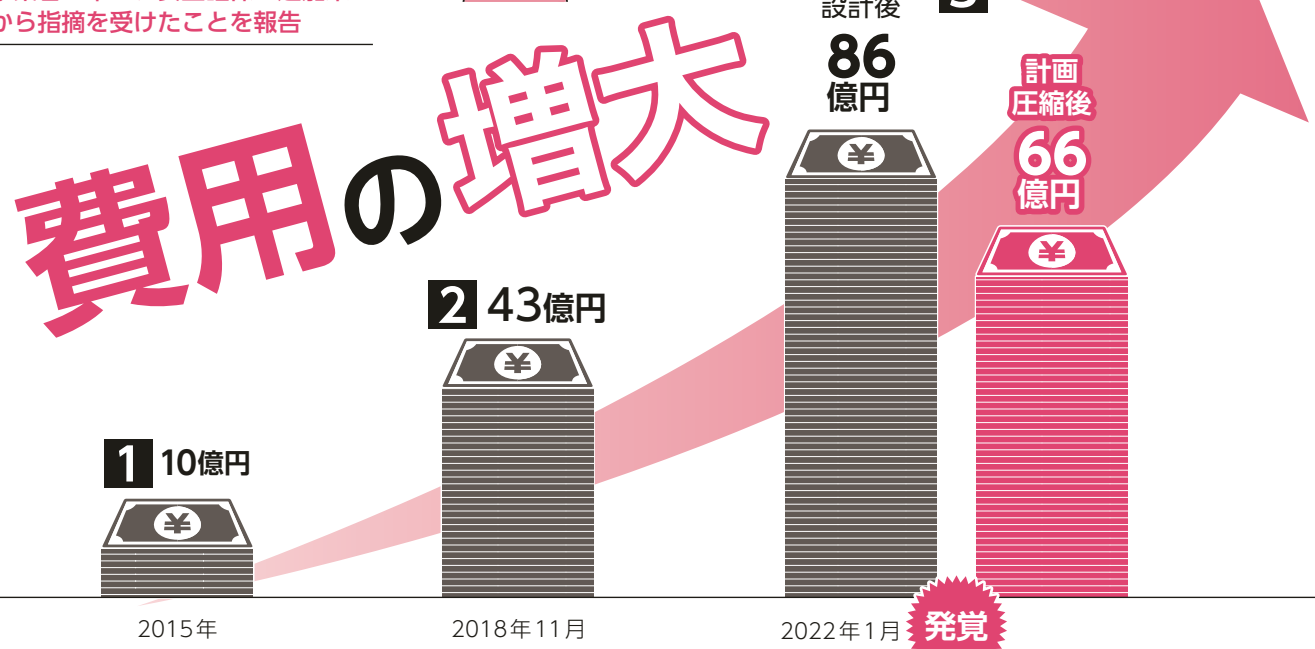
費用8倍増

路面電車岡山駅前乗り入れの費用が、当初の8倍以上に膨れ上がることが、今年1月に発覚しました。最初は乗り入れのために線路を延ばす約10億円の計画でした。それが、岡山駅前広場を後楽園風にする大改修などとセットで約43億円に拡大。今年1月になって、費用は86億円へと激増し、完成は2年半遅れの2025年秋頃になると

報じられました。市は、後楽園風にする改修の大半をやめて費用を圧縮するとしています。それでも66億円です。原因は建築基準法の認識不足で、地下街での工事に必須である通路確保が入っていないという、初歩的なミスです。また軌道に安全のための装置を付ける必要が判明し、それも費用増になります。

経過	年月	内容
	2013 10月	大森市長が初当選
	2014 2月	当初予算に調査費用計上
	8月	検討会を発足
	2015 11月	10億円の「平面乗り入れ案」を決定 → 1
	2016 7月	駅前広場改修を含めた新たな検討会を発足
	2017 10月	大森市長が再選
	2018 11月	駅前広場を後楽園風に改修とセットの43億円の計画を決定 → 2
	2020 3月	地下街運営会社が市に、地下街工事の計画の不備(通路確保が出来ていない等)を報告
	8月	路電運行事業者が市に、安全確保で追加策が必要と国から指摘を受けたことを報告

2021 2月	ミスを隠したまま地下街工事やテナントへの補償などの費用を当初予算案に計上
7月	担当から大森市長に、事業費増加と工期遅れの不可避を報告
10月	大森市長が3選
2022 1/15	事業費の大幅増と完成の大幅遅延が報道
1/20	大森市長が定例会見で質問に答える形で説明 → 3
3月	大幅変更にもとづく推進予算を議会でも可決



シリーズ ムダづかいSTOP!! Series vol.2



弁護士と無料法律相談

要予約 毎月第1～第4月曜日夕方に法律相談を行っています。

TEL 803-1707 (市議団)



※このニュースは政務活動費で作成しています

ウクライナに平和を ロシア非難決議を採択 3/3市議会で全会一致

ロシアのウクライナ侵略に抗議宣伝するすみより聡美さん (左から3番目、参院岡山選挙区予定候補) と市議団 (3/14)



児童虐待死 市の判断は妥当だったか

1月に女兒が虐待死した事件について、虐待を「軽度」としたことや、一時保護後に親に返した判断が妥当だったのか、知人男性による家庭内の支配の危険性を把握できなかったのかを、党市議団は指摘しました。しかし市は、有識者会議で検証するからと、具体的なことを答えませんでした。

党市議団は、こども総合相談所(児相)の体制拡充を求めました。市は、児相に児童福祉司など2名増員、各ふれあいセンター内の地域こども相談センターも増員します。

現在の岡山市は、児童福祉司1人あたり66ケース担当しており、国目安の40ケースを大きく超えています。市長は、今後、国目安まで増やしていく考えを示しました。

くりかえさせない

技能実習生の相談に 市も対応を

岡山市内の建設会社で働いていたベトナム人技能実習生が複数の日本人から繰り返し暴行を受けていた事件が発生しました。技能実習生は 労基法などによる権利の保障が不十分です。あっせんする監理団体に相談窓口がありますが、党市議団は、市にも相談窓口の設置と周知を求めました。市は、国際課の外国人総合相談窓口に相談してほしいと答弁しました。

外国人のお困りごとは

☎ 086(803)1128 平日 9:00～16:00

国保料3年連続 値上げストップ

3年連続国保料が据え置かれることになりました。今回もたくさんの署名と市民の声が寄せられました。運動の成果です。国の制度変更で就学前児の均等割分が半減し、就学前の児童がいる世帯は保険料が下がります。



困っている女性へ 相談や居場所など支援強化

困難を抱えている若年女性などに対して、電話やSNSで相談に乗ったり、居場所を提供したりする民間団体に新たに支援します。また、DV被害者支援の民間団体への助成も拡充します。



コロナ禍の 農家・ノリ生産者に 応援金

コロナ禍が長引き苦境のコメ農家やノリ生産者が作り続けることを支援するため、市は30a以上のコメ農家に面積に応じて3～20万円、ノリ生産者に上限20万円の応援金を支給します。

1面の続き 路面電車の駅前乗り入れ “86億円かかっても進める”と主張の会派も

2月議会では、膨れ上がった計画を縮小せず進めるよう求めたり、追加で数十億円もかかる歩行者用空中通路「ペDESTリアンデッキ」の建設を求めたりする会派まで出ました。このままでは岡山駅前にいくら投入することになるかわかりません。

結局、この予算に反対したのは共産党のほか1人だけでした。“市長になんでも賛成”と言わんばかりの議員たちの態度は、おかしいことがあれば時間をかけて議論してほしいという市民の思いからかけ離れているのではないのでしょうか。

平面乗り入れ、駅前広場の整備は完結すべき

自民党新国会



予定通り実施すべき

公明党市議団



今回、事業化が見送られたものについても、利用促進、利便性向上に繋がるものであり、また市のみならず大きな意味での岡山の玄関口であるということ考えると、ぜひ必要だ

おかやま創国会

